

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



GSC022-P03

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 14:00-16:30

つくば発! 市民と研究機関をむすぶ新しいネットワーク「ジオネットワークつくば」 Geo-Network TSUKUBA -The new style network connects research institutes and citizens concerning geo-environmental science

ジオネットワークつくば¹, 宮越 昭暢^{2*}

Geo-Network TSUKUBA¹, Akinobu Miyakoshi^{2*}

¹ ジオネットワークつくば^(*), ² ジオネットワークつくば事務局

¹Geo-Network TSUKUBA, ²Geo-Network TSUKUBA

「ジオネットワークつくば」は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の地域科学技術理解増進活動推進事業「地域ネットワーク支援」事業として、平成21年度から3年間の予定で行われる地域ネットワーク活動である。筑波山を擁するつくば市・桜川市においては、都市部と山麓の自然環境が近接しており、地域住民の環境保全の意識が高い。さらに本地域には地球環境科学に関連した活動を行っている大学等の教育機関・研究機関・企業・団体等が多数存在する。これら機関が互いに連携してアウトリーチ活動を効果的に行うことで、両市の地球環境科学に関する市民ニーズに積極的に答えることが可能となる。

平成21年以降、つくば市・桜川市の2自治体のほか、2教育機関（筑波大学、茨城県立竹園高校）8研究機関（土木研究所、国立環境研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、国際農林水産業研究センター、森林総合研究所、防災科学技術研究所、国立科学博物館筑波実験植物園、産業技術総合研究所（提案・運営機関））、1科学館（つくば科学万博記念財団）、4企業（つくばコミュニティ放送（株）（株）応用地質（株）シンプルウェイ（株）イー・ピー・センターりっつん）、2団体（つくば市民大学、筑波学際環境教育セミナー）の計17の機関により地域ネットワークを構築しており^(*)、ネットワークは拡大している。平成22年度においては、地球環境科学に関連したサイエンスカフェを8回、筑波山周辺における野外観察会を4回開催して、延376人が参加した。また、博物館での常設展示、地域で開催されるイベントへの出展や「ジオネットの日」を開催して、地球環境科学に関する啓蒙活動に取り組んだ。

平成23年度においては、支援事業終了後の自立的なネットワーク活動の継続に関して検討を進めており、自治体と参加機関においては地球環境科学に関する連携を継続して実施することが確認された。本地域においては、ジオパーク認定や環境モデル都市への選定に向けた活動が様々な取り組みがなされている。地域ネットワークはこれら活動の基盤的役割を担うことが期待され、環境の保全と活用による地域社会の持続的発展に貢献できる。

(*)ジオネットワークつくば

連携自治体：つくば市、桜川市

参加機関：独立行政法人土木研究所、独立行政法人国立環境研究所、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構、独立行政法人国際農林水産業研究センター、独立行政法人森林総合研究所、財団法人つくば科学万博記念財団、筑波大学地球学類、つくばコミュニティ放送株式会社（ラヂオつくば）、独立行政法人防災科学技術研究所災害リスク情報プラットフォームプロジェクトリスク研究グループ、応用地質株式会社（つくばオフィス）、独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園、株式会社シンプルウェイ、つくば市民大学、株式会社イー・ピー・センターりっつん、茨城県立竹園高等学校保険委員会環境班、筑波学際環境教育セミナー

提案・運営機関：独立行政法人産業技術総合研究所

キーワード: 地域ネットワーク, 生涯教育, 地球環境科学, 科学リテラシー, 筑波山

Keywords: regional network, lifetime education, geo-environmental sciences, science literacy, Mt. Tsukuba